

2025信州大学 二次解答分析速報

教科:

学部: 学科(課程・専攻):

入試区分

試験時間: 分

〈全体分析〉

解答形式:

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 分量 減少 | <input type="checkbox"/> 難易 易化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや減少 | <input type="checkbox"/> 難易 やや易化 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 分量 変化なし | <input type="checkbox"/> 難易 変化なし |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや増加 | <input checked="" type="checkbox"/> 難易 やや難化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 増加 | <input type="checkbox"/> 難易 難化 |

出題の特徴:

I・IIの大問構成に変化なし。IIの英文による記述問題のみの出題にも変化なし。昨年は内容説明3題と自由英作文2題の構成だったが、内容説明1題と自由英作文3題に変更。ただし、記述量としては昨年とほぼ同量。

その他トピックス:

〈大問分析〉

問題	区分・範囲	項目・テーマ・出典	内容・形式 (選択・記述・論述など)	難易度	コメント
I	読解	ポライトネスの語用論	・適語句補充3問(うち、4択型2問) ・適所補充1問(1節) ・内容一致	普	本文は内容・語数ともに読みやすく設問も比較的平易。内容一致問題のパラフレーズ(言い換え表現)に注意。
II	読解+英文記述	Game-based learning(ゲーム要素を取り入れた学び)と、Playful learning(遊びを通じた学び)の理論的基礎	問1(1)内容説明(60~70語) (2)内容説明+具体例提示(80~100語) 問2(1)自由英作文(80~100語) (2)意見論述(80~100語)	やや難	本文全体は英文としては読みやすいが、抽象的な説明文のため、具体をイメージしにくい内容。 問1(1): 対応箇所を特定し、「自分の言葉」で説明する問題。 問1(2): 下線部の「明確な説明」と自分が考える「具体例」の提示。 問2(1): 本文で提示された3つの「ゲーム性を利用した学習」の中から1つを選択し、自身の経験を述べる。 問2(2): 「ゲームを利用した学習」の賛否と理由を論じる。

〈学習対策〉

教育問題のトピックが例年扱われるため、日頃からこの分野の課題や研究に注意を向け、自分の意見を持つようにしたい。自由英作文では観察力、発想力、思考力が問われる出題が定番となっている。自身の経験に照らし合わせ、教育現場への関心や知識を広げるようにしたい。

2025信州大学 二次解答分析速報

教科:

学部: 学科(課程・専攻):

入試区分

試験時間: 分

〈全体分析〉

解答形式:

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 分量 減少 | <input type="checkbox"/> 難易 易化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや減少 | <input type="checkbox"/> 難易 やや易化 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 分量 変化なし | <input checked="" type="checkbox"/> 難易 変化なし |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや増加 | <input type="checkbox"/> 難易 やや難化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 増加 | <input type="checkbox"/> 難易 難化 |

出題の特徴:

基本的な問題が多い。

その他トピックス:

I、II から出題がなかった。

〈大問分析〉

問題	区分・範囲	項目・テーマ・出典	内容・形式 (選択・記述・論述など)	難易度	コメント
1	B	数列	数列の和を求める。	やや易	部分分数 $\frac{2}{k(k+1)} = 2\left(\frac{1}{k} - \frac{1}{k+1}\right)$ を用いて和を求める。
2	C	空間ベクトル	四面体の重心の性質	普	正四面体の重心から各頂点までの距離が等しいことをベクトルの絶対値の2乗を用いて示す。

〈学習対策〉

教科書の例題や問題集を解いて基本事項を確認しておくこと。

2025信州大学 二次解答分析速報

教科: 数学

学部: 教育(I II III ABC)

学科(課程・専攻): 現代、社会、数学、理科、ものづくり・技術、家庭、特別支援、心理支援

入試区分 前期

試験時間: 120 分

〈全体分析〉

解答形式:

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 分量 減少 | <input type="checkbox"/> 難易 易化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや減少 | <input type="checkbox"/> 難易 やや易化 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 分量 変化なし | <input checked="" type="checkbox"/> 難易 変化なし |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや増加 | <input type="checkbox"/> 難易 やや難化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 増加 | <input type="checkbox"/> 難易 難化 |

出題の特徴:

基本的な部分を確認する問題が多い。

その他トピックス:

微分係数の定義が出題された。

〈大問分析〉

問題	区分・範囲	項目・テーマ・出典	内容・形式 (選択・記述・論述など)	難易度	コメント
1	B	数列	数列の和を求める。	やや易	部分分数 $\frac{2}{k(k+1)} = 2\left(\frac{1}{k} - \frac{1}{k+1}\right)$ を用いて和を求める。
2	C	空間ベクトル	四面体の重心の性質	普	正四面体の重心から各頂点までの距離が等しいことをベクトルの絶対値の2乗を用いて示す。
3	III	微分法・積分法	条件付き不等式の証明	やや難	(2) $b/a=x$ とにおいて不等式を証明する (1)の不等式を用いて $1 \leq x \leq b/a$ の範囲で積分する。
4	II	微分法	微分係数の定義を用いて関数の極限を求める。	普	$f'(a) = \lim_{h \rightarrow 0} \frac{f(a+h) - f(a)}{h}$ を変形して計算する。

〈学習対策〉

教科書の例題や問題集を解いて、基本事項を確認しておくこと。

2025信州大学 二次解答分析速報

教科:

学部: 学科(課程・専攻):

入試区分

試験時間: 分

〈全体分析〉

解答形式:

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 分量 減少 | <input type="checkbox"/> 難易 易化 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 分量 やや減少 | <input checked="" type="checkbox"/> 難易 やや易化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 変化なし | <input type="checkbox"/> 難易 変化なし |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや増加 | <input type="checkbox"/> 難易 やや難化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 増加 | <input type="checkbox"/> 難易 難化 |

出題の特徴:

例年同様、古文出題出典の予告があった(徒然草)。

その他トピックス:

漢文なし(流動的なものと考えられるので動向に注意)。

〈大問分析〉

問題	区分・範囲	項目・テーマ・出典	内容・形式 (選択・記述・論述など)	難易度	コメント
1-問1	評論	酒井邦嘉 『科学という考え方』	内容説明	普	
1-問2	評論	酒井邦嘉 『科学という考え方』	語句説明(記号)	普	
1-問3	評論	酒井邦嘉 『科学という考え方』	内容説明	普	
1-問4	評論	酒井邦嘉 『科学という考え方』	内容説明	普	
1-問5	評論	酒井邦嘉 『科学という考え方』	内容説明	普	問1を別の視点(逆)で説明しなおすイメージ
1-問6	評論	酒井邦嘉 『科学という考え方』	内容説明(記号)	普	・不適切なものを選択
2-問1	小説	吉本ばなな 『N・P』	語句説明	普	
2-問2	小説	吉本ばなな 『N・P』	内容説明	普	
2-問3	小説	吉本ばなな 『N・P』	内容説明	普	

2025信州大学 二次解答分析速報

教科:

学部: 学科(課程・専攻):

入試区分

試験時間: 分

2-問4	小説	吉本ばなな『N・P』	内容説明	普	
2-問5	小説	吉本ばなな『N・P』	内容説明	普	経緯を意識すること
3-問1	古文	『徒然草』第184段	選択問題(敬意の方向)	易	
3-問2	古文	『徒然草』第184段	指示語の説明問題	易	
3-問3	古文	『徒然草』第184段	内容説明(理由)	普	
3-問4(1)	古文	『徒然草』第184段	主体の判定	易	
3-問4(2)	古文	『徒然草』第184段	内容説明(理由)	やや難	
3-問5	古文	『徒然草』第184段	内容説明全体の構成と主題	普	

〈学習対策〉

【現代文】

- ・順序だてて説明することを練習する。
- ・小説に読み慣れること。

【古文】

- ・「徒然草」の出題については今後も継続する可能性があるので募集要項で確認後、対策を立てておく。作品全体を貫く作者の主張を押さえておく。
- ・漢文は今後復活する可能性もあるので、準備しておく。

2025信州大学 二次解答分析速報

教科: 物理・物理基礎

学部: 教育・理・工・織
維・農

学科(課程・専攻): 教育(理、も)・理(物理)・工(全)・織維(全)・農(全)

入試区分 前期

試験時間: 90 分

〈全体分析〉

解答形式:

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 分量 減少 | <input type="checkbox"/> 難易 易化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや減少 | <input type="checkbox"/> 難易 やや易化 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 分量 変化なし | <input type="checkbox"/> 難易 変化なし |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや増加 | <input checked="" type="checkbox"/> 難易 やや難化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 増加 | <input type="checkbox"/> 難易 難化 |

出題の特徴:

答えのみ書かせる形式だが、昨年同様グラフを書かせる問題が出題された。

その他トピックス:

出題分野は昨年と同じだった。問題の分量、計算量共に多く、やや難化した。

〈大問分析〉

問題	区分・範囲	項目・テーマ・出典	内容・形式 (選択・記述・論述など)	難易度	コメント
1	力学	単振動 力学的エネルギー保存則	弾性力による斜面上の物体の単振動	普	単振動に関する標準問題(使用する文字に制約があるので指示を確認することが大切)。
2	波動	波の式 単振動	固体中を伝わる縦波の力学モデル	やや難	設定が少々複雑なので難しく感じられるかもしれない。三角関数の合成など、計算力が問われる。
3	電磁気	電磁誘導 エネルギー保存則	運動する導体棒、コイルに生じる誘導起電力	普	電磁誘導に関する標準問題。運動のイメージを正しくとらえることがポイントとなる。
4	熱力学	熱力学の第一法則 気体の仕事	シリンダー内の気体の状態変化	やや難	問題の設定は標準的であるが、式が繁雑で、計算ミスに注意する必要がある。

〈学習対策〉

出題のレベルは標準的とはいえないものの、分量が多く、計算も大変である。長文の問題を読みこなし、ミスなく計算する力を養う必要がある。まず基本事項をしっかりマスターし、標準的な問題集をしっかり演習し、自力で解答を書けるよう努力しよう。

2025信州大学 二次解答分析速報

教科: 化学・化学基礎

学部: 教育・理・工・織
維・農

学科(課程・専攻): 教育(理、も)・理(化学)・工(物質化学)・繊維
(全)・農(全)

入試区分 前期

試験時間: 90 分

〈全体分析〉

解答形式:

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 分量 減少 | <input type="checkbox"/> 難易 易化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや減少 | <input type="checkbox"/> 難易 やや易化 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 分量 変化なし | <input checked="" type="checkbox"/> 難易 変化なし |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや増加 | <input type="checkbox"/> 難易 やや難化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 増加 | <input type="checkbox"/> 難易 難化 |

出題の特徴:

糖類が大問1題を占めていた。気体の問題も大問として取り上げられていた。

その他トピックス:

〈大問分析〉

問題	区分・ 範囲	項目・テーマ・出典	内容・形式 (選択・記述・論述など)	難易度	コメント
1	理論	結晶格子	密度・充填率 溶解度積	普	結晶格子に関する一般的な内容の問題であった。
2	理論	気体	分圧・蒸気圧	普	連結容器に可燃性気体を入れ、混合後点火する見慣れた問題である。
3	有機	アニリンの反応	アゾ染料の合成	普	化学反応式を多く書かせていた。また、140字の論述形式の問題が出題されていた。
4	有機	糖類	グルコースの構造式 還元糖の計算 アルコール発酵	普	グルコースの3種類の構造式を書かせる問題。アルコール発酵、フェーリング液の還元に関する計算問題。

〈学習対策〉

例年同様市販の問題集の標準問題レベルの出題であった。基礎力をしっかり身に付けていれば高得点を期待できる。高分子の出題が糖類に傾いているように思われる。例年と同じく無機化学からの出題は、ほとんどなかった。

2025信州大学 二次解答分析速報

教科: 生物・生物基礎

学部: 教育・理・繊維・農

学科(課程・専攻): 教育(理、も)・理(生物)・繊維(先、機、応)・農(全)

入試区分 前期

試験時間: 90 分

〈全体分析〉

解答形式:

記述式

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 分量 減少 | <input type="checkbox"/> 難易 易化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや減少 | <input checked="" type="checkbox"/> 難易 やや易化 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 分量 変化なし | <input type="checkbox"/> 難易 変化なし |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや増加 | <input type="checkbox"/> 難易 やや難化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 増加 | <input type="checkbox"/> 難易 難化 |

出題の特徴:

生物・生物基礎の全範囲から幅広く出題されている。教科書に記載のある基本的な問題が多いが、「コラム」や脚注などの細かな内容の出題もある。知識問題が多く、実験考察型の出題は少ない。例年論述式の問題が多かったが本年度は5問200字×2、30字×3計490字と大きく減少した(昨年度は12問1行程度×4、80字程度×3、20、60、150、140、60計770字程度)。代わって穴埋め問題、化学反応式を答える問題が増加した。

その他トピックス:

毎年出題されていた生態分野の出題がなかった。カタラーゼの酵素の問題は23年年度前期に類似の問題が出題されている。論述量が激減したためやや易化とした。

〈大問分析〉

問題	区分・範囲	項目・テーマ・出典	内容・形式 (選択・記述・論述など)	難易度	コメント
1	生物の環境応答	刺激の受容と反応	知識問題 論述問題200字	標準	ヒトの受容器と刺激、ヒトの中枢神経系の名称とはたらき、骨格筋収縮に関する穴埋め。落ちていたものを拾う過程について刺激の受容と反応についての論述。
2	遺伝子	遺伝子と遺伝情報	知識問題 論述問題200字程度	標準	DNAの構造、複製、遺伝子操作に関する穴埋め。DNAの複製過程の論述。遺伝子操作や遺伝子組換えなど遺伝子を扱う技術に関する知識問題。
3	代謝	呼吸	知識問題 化学反応式	標準	呼吸に関する語句と解糖系および電子伝達系の反応式の穴埋め。脂肪とタンパク質が完全に分解されたときの反応式。呼吸商からの呼吸基質の推定。
4	酵素	酵素	知識問題 論述問題30字×3	標準	酵素に関する穴埋め。カタラーゼによる過酸化水素の分解について、化学反応式、条件によって反応しなかった理由の論述。阻害剤の影響。無機触媒と酵素の違い。

〈学習対策〉

標準的でオーソドックスな問題がほとんど。やるべきことをしっかりやれば高得点が期待できる問題構成。過去に出題のあった内容が繰り返し出題される傾向がある。対策は教科書の内容と過去問を徹底的に学習すること。教科書は「参考」「コラム」などの細かな内容も丁寧に理解しておく必要がある。昨年まで論述問題が多い傾向があったので、50～100字程度の論述答案を書く訓練を、早い時期から練習しておきたい。論述内容は知識型が多い。実験問題は多くはないが、実験問題について内容・結果・グラフの十分な理解を練習しておきたい。

2025信州大学 二次解答分析速報

教科:

学部: 学科(課程・専攻):

入試区分

試験時間: 分

〈全体分析〉

解答形式:

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 分量 減少 | <input type="checkbox"/> 難易 易化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや減少 | <input checked="" type="checkbox"/> 難易 やや易化 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 分量 変化なし | <input type="checkbox"/> 難易 変化なし |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや増加 | <input type="checkbox"/> 難易 やや難化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 増加 | <input type="checkbox"/> 難易 難化 |

出題の特徴:

各分野まんべんなく、基本事項を中心に出题される。論述問題が多い。

その他トピックス:

特に大きな変化なし。

〈大問分析〉

問題	区分・範囲	項目・テーマ・出典	内容・形式 (選択・記述・論述など)	難易度	コメント
1	地球の概観	地球の内部構造	地球の鉛直構造とアイソスタシー	やや易	地球の内部構造についての基本知識があれば十分。アイソスタシーの計算問題もごく基本的。
2	地球の活動	変成作用と岩石	変成岩の分類と多形	やや易	変成作用の種類とそれに伴う変成岩についての設問で、基本的。
3	宇宙の構造	太陽系の天体	木星型惑星の概要	普	4つの問のうち3つが計算問題であるが、基本的な公式ができれば十分。
4	大気と海洋	大気の大気構造	地球大気の大気鉛直構造と諸現象	やや易	他の大問同様、基礎的な知識で十分解答可。

〈学習対策〉

知識としては教科書と資料集で十分におつりがくるので、図表や写真に見慣れておくこと。論述問題が多いので、用語や現象などを自分なりに説明できるようにしておくこと。